

はじめに

11年ぶり4回目の冬のアメリカです。1回目は98年12月。1人でオレゴン州・雪のデシューツの森とクレーターレイク国立公園を歩きました。このときの感動的な景色が、その後の私のアメリカ行きに大きく影響を与えています。「ひとりじゃあもったいねえ！仲間と一緒にこの景色の中を歩いてえ！」と感じたんです。

2回目は、翌99年12月。二宮副会長と教え子等5人で、「2000年問題」が心配される中、Mt.レーニア国立公園とデシューツの森、レッドウッド国立公園等今回とほぼ同じコースを歩きました。「2000年の日付が変わったとき、日本中が大停電になった！」なんて話を真に受けたり、「ママシの卵」や「ビッグフット」が出てきたり、話題に事欠かない珍道中でした。

3回目は、2005年12月。小長くんと2人。カナダ国境からサンフランシスコまで、2000kmに及ぶ厚い雲とそれによってもたらされる強風「ウィンターストーム」が吹き荒れていました。真横に降る雪に、目的だったMt.シヤスタには近づくことも出来ず「雨も雪も降らん砂漠に行こうや！」とユタ・アリゾナ方面へ。デスバレー国立公園とモニュメントバレー・ナバホ族公園を訪ねる移動距離6400km。お互い「賢い選択じゃねえなあ・・・」「ああ、大人ん選択じゃねえなあ・・・」と笑いながらの印象深い旅でした。

そして、4回目。今回もまたひと味違った、充実した山の旅となりました。その幾つかを紹介しましょう。

焦ったこと

① ガス欠寸前？！

12月24日。ポートランドからベンドへの移動途中。ガソリンを入れようと思っていましたが、クリスマスイブのためかどこも開いていない。その上、ガソリンの減りが思いの外早く、残量の警告灯が点灯し始めた。

山間部に入って、人家は無くなりガソリンスタンドなど・・・。峠にあるMt.フッドスキー場を通過するとますます、な～んにも無い！！「こらあ、ほんとにマジいなあ・・・」と焦った。近くの小さな町に下りようと幹線道路からはずれ、真っ白な雪の中をただただ下っていく。ナビには、ガソリンスタンドらしきものは全く何も出てこない。心底焦った。助手席の大城鉄ちゃんと、「思い切って、スキー場まで戻ろう！」と話して、往路をスキー場へ。たどり着くまでは、「いつ止まるんじやろうか？ガス欠になるんじやろうか？」ときがきじゃあなかった。

そもそも、スキー場にガソリンスタンドがあるんか？開いちょるんか？との心配もあったが、スキー場まで行けば、ガソリンスタンドが無くても閉店していても、最悪でもテント泊は出来る。ガソリンは、スキー客をつかまえて頼めば、明日にでも手に入る。と何が何でもスキー場までは！と外のキラキラした雪景色とは正反対に、私の気分は真っ暗でした。

なんとかかんとかスキー場に到着して、ガソリンスタンド発見！その上開いている！！危なかった・・・

山の神に感謝した瞬間でした。

② アイゼン

スミスロック州立公園のトレッキングでのこと。以前の記憶から、「アイゼンはいらんじやろう」とみんなには言ったものの、下山してくる登山者はツルツル滑りながら、それが当たり前のようを下りてきます。

焦った！「こいた、しもうた・・・こん道は下りられんな・・・」と下山を思うと憂鬱になりながら

山頂へ。山頂からは、夕陽とMt.フッドの絶景を楽しみましたが、下山は陽の当たる反対方向へ。往路よりも1時間半長い道を、最後はヘッドランプを出しての下山となりましたが、無事下山。ほっとひと息。みんなのおかげでいい山となりました。

美味しかったこと

① ステーキ & ハンバーガー

12月29日(金)夕食。サクラメントのレストラン。「少々高くても良いから美味しい肉を食べよう！」と言うことに。駐車場は薄暗くて少々怖かったけど、レストランは大当たり！いや～美味かった！！肉はもちろん、付け合わせの芽キャベツとマッシュポテトも、そしてクラフトビールとワインも最高でした。多分、今までで一番美味しいステーキでした！！

12月31日(日)遅い昼食。マリポサのハンバーガー屋さん。口コミでは5つ星ですが、「まあ、そげえ言うてんハンバーガーじゃあきなあ？」と思っていましたが、いやいや驚きました。肉が違うのか？ソースが違うのか？みんな大満足の美味しさです。こっちも今までで一番美味しいハンバーガーでした！！

② 山飯 ～ 自炊7泊程度を目安に、6人分を用意しました。

- ・アルファ米 ～ 50袋 (100食分)
- ・フリーズドライ食品 ～ 13種類 (112食分)
 - 中華丼、親子丼、各種カレー (野菜、肉入り)
 - 各種スープ (ホタテ、鯛、海鮮、中華、キムチ、オニオン、トマト)
- ・ラーメン ～ 塩、醤油、豚骨
- ・そば ～ 年越しそば！
- ・コーヒー、お茶、ホットレモン等

*上の①は例外として、それ以外のレストランや買い出し食品のどれよりも、準備していった山飯が美味しかった！気のあった仲間であつた食事は、テントの中はもちろん宿の中でもやっぱり美味しい！！特に最近のフリーズドライ食品の美味しさは、あなどってははいけません。種類も豊富で、使い勝手も良いんです！！因みに私の最近のお気に入り、アルファ米に「道場六三郎監修・中華スープ」をのせてお湯をかける「六三郎中華雑炊」です。これ、最高！！

③ 地ビール

アメリカは、今や地ビール天国！ホップたっぷり、アルコール度数高めIPAクラフトビールに目移ります！！苦みとキレとコクの全てを満足させてくれるこのビール、大城てっちゃんがとにかく詳しいんです。おかげで、どの町でも美味しいビールにありつけました。サンキュー！！

魅力のアメリカ自然公園

海外の、深い自然の中で仲間とともに過ごす。これは、山を志す者にとって大きな魅力です。アメリカ西海岸には、カナダ国境からカリフォルニア州北部までのびるカスケード山脈と、カリフォルニア州東部を縦断するシエラネバダ山脈の2つの大きな山脈があります。どちらも4000mを超える高峰を有するスケールの大きな山脈です。

カスケード山脈は、氷河を頂いた富士山タイプ独立峰が多く、夏には本格的な雪山や氷河歩きが楽しめます。また、山麓は「これでもか！」と言うくらいの花々が咲き乱れ、「天国の景色って、こんな感じ?!」なんて思うほどです。シエラネバダ山脈は、岩登りの聖地・ヨセミテやジョン・ムア・トレイルで知られるロングトレイルがあり、世界中から登山者やアウトドア愛好者、観光客が季節を問わず訪れます。

今回訪ねたのは、オレゴン州のスミスロック州立公園とクレーターレイク国立公園、カリフォルニア

ア州のレッドウッド国立公園とヨセミテ国立公園の4カ所。そのどれもが日頃お目にかかれない、スケールの大きさと美しい景観をあわせ持っています。

最も好きな景色は、クレーターレイク国立公園の雪をかぶったウィザード島です。北米で最も水深の深いこの湖は、湖面は深い藍色。そこに浮かぶウィザード島とその上に広がる澄んだ青空とのコントラストは、正に神がかった美しさです。この景色を見たかったんです！

98年冬、初めて見たとき涙が出るほど感動しました。湖畔にテントを張って、暮れていく湖面と満点の星空を眺めながら、あまりの気持ちよさに入口を開けたまま眠ってしまいました。寒さは、不思議とそれほど感じませんでした。99年の2度目は真っ白なガスの中、全く見ることは出来ず、05年の3回目はあまりの雪の多さに、湖にたどり着くことさえ出来ませんでした。

今回、どうしても見たかったその景色の中を、会の仲間と一緒に歩けたことで、旅の目的は達したと感じています。他の登山者や観光客が、スキーやスノーシューでゆうゆうと歩いているところをつぼ足で。その上翌日はトレースが消えて、太ももまでのラッセルに鍛われました。おかげで、密度の濃いトレッキングとなりました。

その他

① 必要経費（概算を出してみました）

- ・航空運賃 ～ 4組に分かれての移動でしたが、1人およそ180000円程度
- ・レンタカー ～ バジェットレンタカー
7人乗りワゴンを手配（10泊11日）1人およそ30000円
- ・宿泊費 ～ ホテル7泊、1人およそ35000円
- ・国内買い出し分 ～ 食糧費、雑費、1人およそ5600円
- ・現地費用 ～ ガソリン、キャンプ場、雑費、1人およそ18000円

*1人あたり、およそ268000円程度でした。

② 次回は？

登りたい山、歩きたい自然、行きたいところ、山ほどあります！さて、どこに行こうか！？国内国外問いません。みんなと一緒に登りたい！また、よろしくお願ひします！！